

諏訪の景気動向

平成26年 8月

(平成26年 7月末 D・I調査)

平成26年 8月27日
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏 訪 信 用 金 庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 26 年 7 月末調査）

「平成 26 年 7 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 171 社のご協力を得て行った平成 26 年 7 月末の「景気動向調査(DI調査)」では、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは 13.5 となり、前回調査時(平成 26 年 4 月末、以下同)の 5.3 から、8.2 ポイント改善した。製造業の業況判断DIは 12.4 と、前回の 3.0 から 9.4 ポイント改善し、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも 16.6 と前回の 12.8 から、3.8 ポイント改善し、総体的には改善傾向となっている。一方、「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が 10.1(前回 3.9)と改善予想が増えているが、商業をはじめとする非製造業は 2.4(前回 10.3)と慎重な見方が多く、回答全社では 8.2 となった。3ヶ月前と比べた消費増税の影響は、「影響がない」とする企業が回答全社で、前回の 28.4%から 39.0%に増え、影響が薄れつつある。

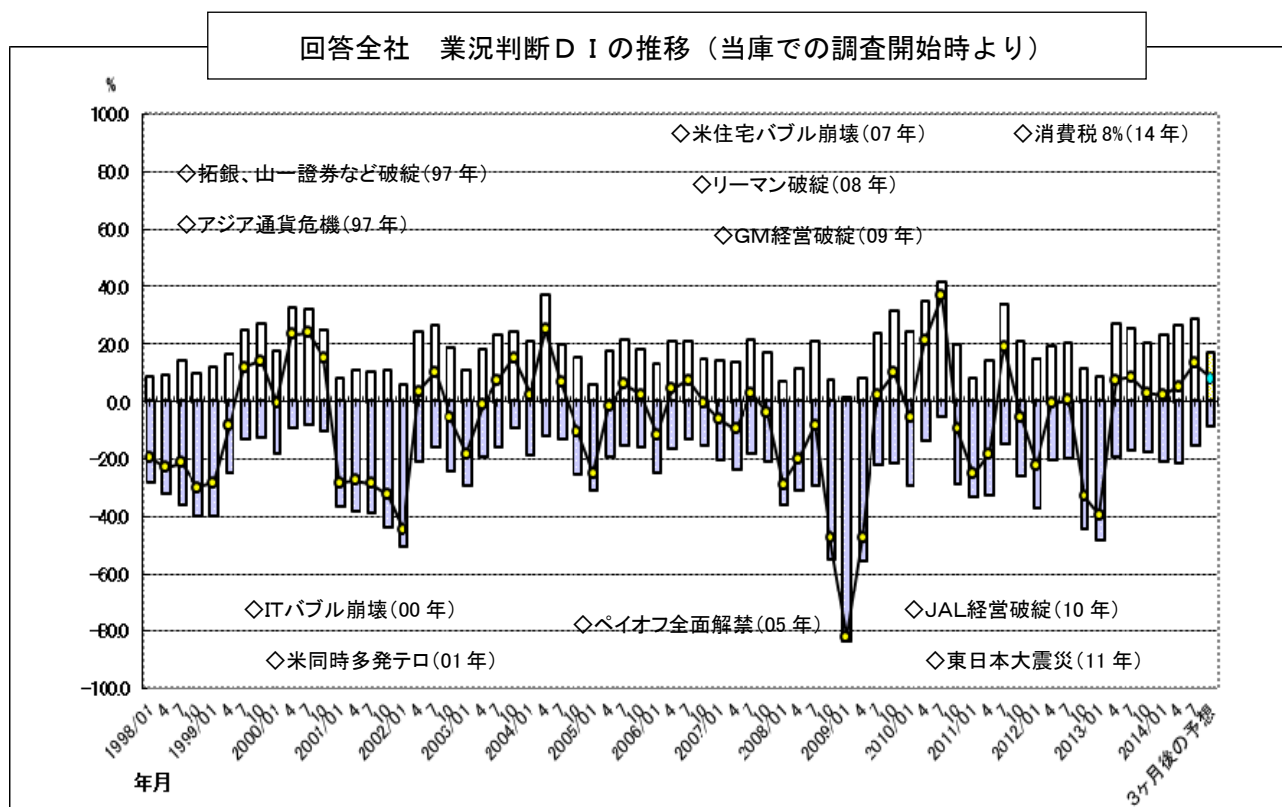
製造業の業況判断DIは、「3ヶ月前」比で 12.4 と前回調査時の 3.0 から改善し、「前年同期」比も 27.1 で、前回の 14.7 から改善した。「3ヶ月後」の予想も 10.1 で前回の 3.9 より好転見込みが増えている。受注状況DIは「3ヶ月前」比で 11.6 と前回の 1.6 から改善し、「前年同期」比も前回の 11.6 から 24.0、「3ヶ月後」の予想も前回の 1.5 から 8.5 と改善している。ただ、収益性DIは「3ヶ月前」比が前回の $\Delta 7.7$ から $\Delta 6.2$ 、「前年同期」比は $\Delta 8.5$ から $\Delta 2.4$ 、「3ヶ月後」の予想は前回の $\Delta 5.4$ から $\Delta 2.3$ と改善しているものの、依然マイナス水準が続いている。アベノミクス効果が表れ始めた 1 年前の平成 25 年 7 月時点と比べると、製造業の業況判断DIは「3ヶ月前」比が 7.9 ポイント、「前年同期」比は 46.8 ポイント改善しているが、「3ヶ月後」の予想は 1.3 ポイント悪化している。消費増税の影響は、3ヶ月前に比べて 48.3%の企業が「多少」、10.0%が「多大」とするものの、「影響がない」とする企業は前回の 30.8%から 41.7%に増えている。3ヶ月後も現在とほぼ同様に推移する見方が多い。

商業の大型店を中心とした業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて前回の 0.0 から $\Delta 18.2$ 、「前年同期」比は前回の 9.1 から $\Delta 9.1$ 、「3ヶ月後」の予想も前回の $\Delta 18.2$ から $\Delta 27.3$ へ悪化した。来店客数DIは「3ヶ月前」比で $\Delta 36.4$ 、「前年同期」比で $\Delta 27.2$ と悪化した企業が多く、「3ヶ月後」も $\Delta 45.5$ と悪化予想が多い。また、収益性DIは「3ヶ月前」比では 9.1 で好転企業が上回るが、「3ヶ月後」は $\Delta 27.3$ と悪化を見込む企業が増えている。消費増税の影響は、72.7%の企業が「多少」または「多大」と感じ、駆け込み需要の反動減が残っている。自動車販売は、諏訪地方の 7 月の車庫証明件数(軽自動車除く)が 956 件で、前年同月比では 23 件減少($\Delta 2.3\%$)したが、前月比では 100 件増加(11.7%)した。

観光・サービス業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIが 42.9 で、前回調査時の 43.7 とほぼ同様に推移している。宿泊客数DIは 42.9(前回 43.8)、稼働率DIは 38.1(前回 43.7)とやや悪化した。客単価DIは 19.1 で好転企業が上回っている。「前年同期比」では、業況判断DIが $\Delta 4.8$ で前回の 0.0 より悪化し、宿泊客数DIも $\Delta 9.5$ で減少した企業が多い。「3ヶ月後」は、業況予想DIが 14.3 で前回の 43.8 より悪化し、宿泊客数予想DIも 4.8 と前回の 50.0 から悪化している。客単価予想DIは $\Delta 4.8$ と前回の 6.3 より低下している。今シーズンは休日に天候が悪い日が多く、客足に影響を及ぼしている。消費増税の影響は 55.5%(前回 68.8%)の企業が感じ、ガソリンの高止まり、高速道路料金の割引縮小などの影響もある。

建設業の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは横ばいの企業が多いが、0.0と前回調査時の△16.6から改善している。「3ヶ月後」の予想も10.0で前回の△8.3より「好転」見込みの企業が増えている。受注状況DIは、「3ヶ月前」比は△20.0で前回の△33.3から改善し、「前年同期」比でも「好転」企業が増えている。「3ヶ月後」の予想は△10.0で前回の△8.3とほぼ同様に推移している。諏訪地方の平成26年6月の新設住宅着工戸数は103戸で、前年同月比23戸減少(△18.3%)した。平成26年4月～6月の累計着工戸数は285戸で、前年同期比58戸減少(△16.9%)した。7月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は13件977百万円だった。平成26年4月～7月の累計は29件、1,896百万円で、前年同期累計に比べて29件、112百万円、5.6%の減少となった。市町村の発注工事は合計74件、587百万円で、岡谷市の新病院建設関連の大型発注があった前年同月比では92.1%減少した。

雇用状況は、平成26年6月の諏訪地方の有効求人倍率は、前年同月を0.30ポイント、前月を0.06ポイント上回る1.06倍となった。昨年6月から13ヶ月連続で前年を上回っている。長野県は1.09倍で、全国は1.10倍となった。新規求人数(全数)は1,404人で前年同月比60人(4.5%)増加し、新規求職者数は899人で前年同月比18人(△2.0%)減少している。産業別の前年同月比の新規求人数は、医療・福祉業で29.6%、その他サービス業で22.3%増加し、飲食店・宿泊業で46.7%減少した。求人の要因別では「業務量増大」が増加し、「欠員補充」「継続する人員不足」「創業・新分野展開」が減少した。ただ、正社員の求人割合は3割台にとどまっている。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は48人で、前年同月より4人減少し、前月より10人増加した。人材派遣業には、「昨夏までは、人はいるが企業からのオーダーがない状態。今は企業からのオーダーはあるが、人がいない状態」という声もある。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(171社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が28.7%、「横這」企業が56.1%、「悪化」企業が15.2%で13.5と、前回調査時の5.3から8.2ポイント改善した。前回に比べて製造業は、「好転」企業が23.8%から27.1%へ増加し、「悪化」企業は20.8%から14.7%へ減少した。非製造業は「好転」企業が35.9%から33.3%へ減少したが、「悪化」企業も23.1%から16.7%へ減少した。ただ、「好転」は例年同様、観光シーズン最盛期となっている観光業の伸びが大きく、商業のDIは前回の0.0から△18.2へ悪化し、建設業は横ばい企業が多い。回答全社の1年前(平成25年7月)との比較では、業況判断DIは8.7から13.5へ4.8ポイント改善している。

産業別業況表

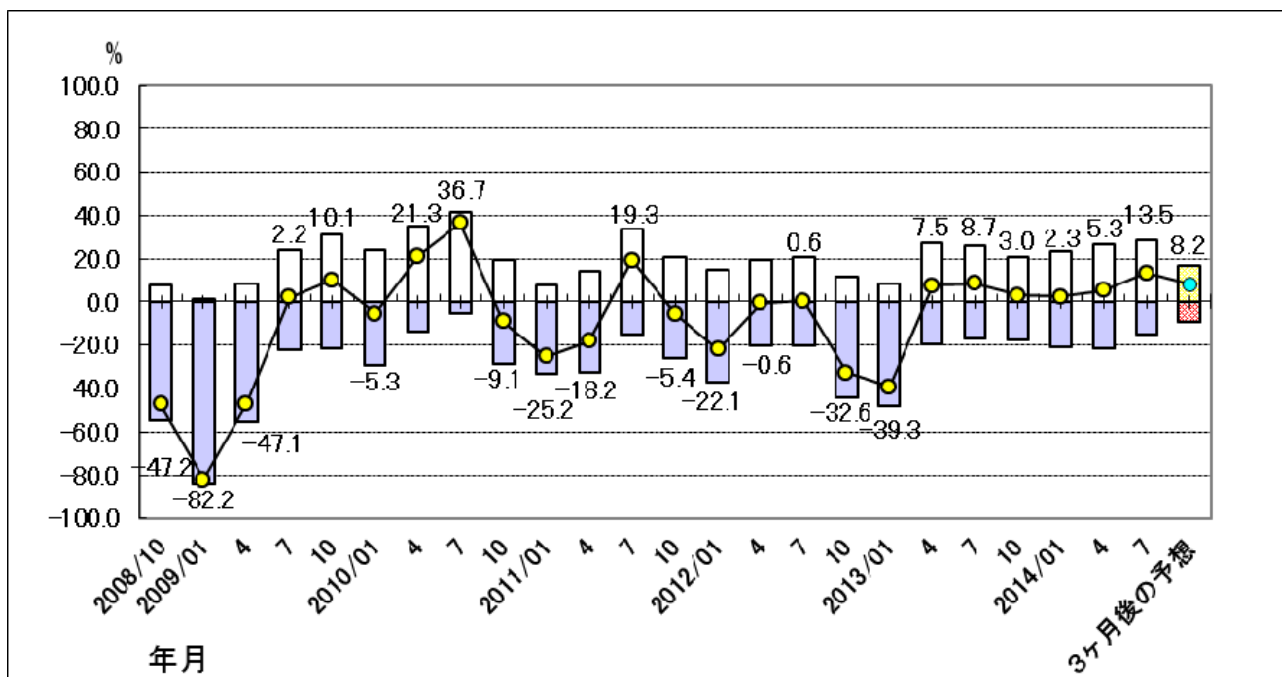
(企業数・%) 表-1

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | |
|---------|----------|------|------|------|-------|----------|------|------|------|------|---------|------|------|------|-------|
| | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI |
| 全体 | 171 | 28.7 | 56.1 | 15.2 | 13.5 | 171 | 39.2 | 42.1 | 18.7 | 20.5 | 171 | 17.0 | 74.3 | 8.8 | 8.2 |
| 製造業 | 129 | 27.1 | 58.1 | 14.7 | 12.4 | 129 | 42.6 | 41.9 | 15.5 | 27.1 | 129 | 17.1 | 76.0 | 7.0 | 10.1 |
| 非製造業 | 42 | 33.3 | 50.0 | 16.7 | 16.6 | 42 | 28.6 | 42.9 | 28.6 | 0.0 | 42 | 16.7 | 69.0 | 14.3 | 2.4 |
| 商業 | 11 | 18.2 | 45.5 | 36.4 | -18.2 | 11 | 36.4 | 18.2 | 45.5 | -9.1 | 11 | 0.0 | 72.7 | 27.3 | -27.3 |
| 建設業 | 10 | 10.0 | 80.0 | 10.0 | 0.0 | 10 | 30.0 | 60.0 | 10.0 | 20.0 | 10 | 10.0 | 90.0 | 0.0 | 10.0 |
| 観光・サービス | 21 | 52.4 | 38.1 | 9.5 | 42.9 | 21 | 23.8 | 47.6 | 28.6 | -4.8 | 21 | 28.6 | 57.1 | 14.3 | 14.3 |

自社業況判断DIの推移

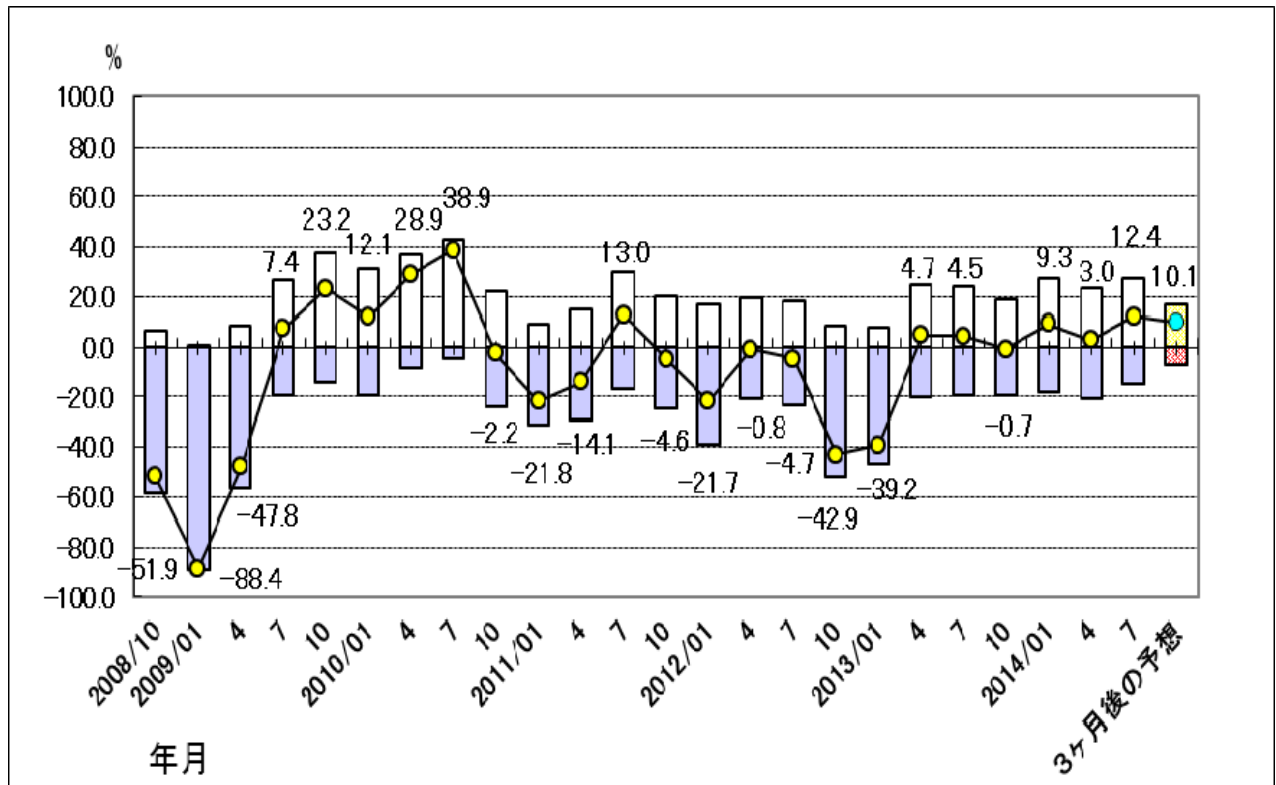
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



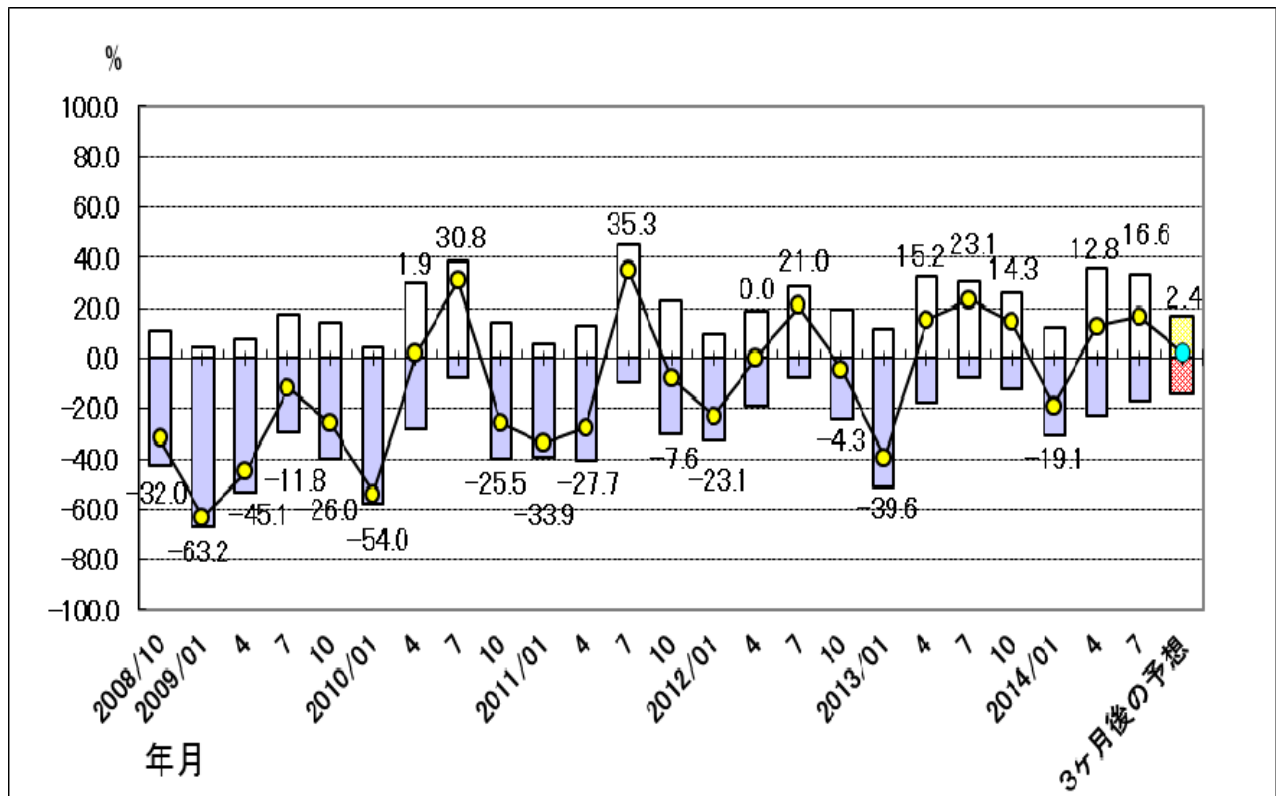
●製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1.製造業

業況判断DIは、「3ヶ月前」比で12.4と前回調査時の3.0から9.4ポイント改善した。「前年同期」比は27.1で、前回の14.7から12.4ポイント改善している。「3ヶ月後」の予想は10.1で、前回の3.9から6.2ポイント改善した。

受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて11.6と前回の1.6から10.0ポイント改善した。「前年同期」比は24.0で前回の11.6から12.4ポイント改善している。「3ヶ月後」の予想DIも8.5と、前回の1.5から7.0ポイント改善している。

収益性DIは、「3ヶ月前」比で△6.2と前回の△7.7からやや改善し、「前年同期」比でも前回の△8.5から△2.4～6.1ポイント改善したが、「悪化」の企業が「好転」の企業を上回り、依然マイナス水準で推移している。原材料や輸送費、燃料などの高止まりが収益を圧迫する企業が多い。「3ヶ月後」の予想は△2.3で、前回の△5.4より3.1ポイント改善した。

消費増税の影響は、「3ヶ月前」と比べて「多少」とする企業が48.3%（前回61.5%）、「多大」とする企業が10.0%（前回7.7%）あり、58.3%の企業が影響を感じている。「3ヶ月後」の予想では「多少」が50.8%（前回68.5%）、「多大」が7.5%（前回7.7%）で、58.3%（前回76.2%）が今後に影響があると予想しているが、影響がないとする企業は増えつつある。

業種別（主要5業種）の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「金属製品」が38.4（前回12.5）、「一般機械」は12.9（同10.0）、「電気機械」は△3.8（同3.8）、「輸送用機械」は17.6（同△12.5）、「精密機械」が0.0（同△50.0）となった。「前年同期」比では「精密機械」が0.0、「金属製品」は53.8、「一般機械」は22.6、「輸送用機械」は58.8、「電気機械」が26.9とプラス水準となっている。「3ヶ月後」の予想DIは、「金属製品」が15.4、「一般機械」が0.0、「電気機械」は26.9、「輸送用機械」は5.8、「精密機械」が12.5でプラス予想となっている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | | |
|-----|------------|------|------|------|------|----------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|
| | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | |
| 製造業 | 129 | 27.1 | 58.1 | 14.7 | 12.4 | 129 | 42.6 | 41.9 | 15.5 | 27.1 | 129 | 17.1 | 76.0 | 7.0 | 10.1 | |
| 規模 | 1～29人 | 65 | 26.2 | 56.9 | 16.9 | 9.3 | 65 | 38.5 | 46.2 | 15.4 | 23.1 | 65 | 9.2 | 76.9 | 13.8 | -4.6 |
| | 30～99人 | 41 | 26.8 | 58.5 | 14.6 | 12.2 | 41 | 43.9 | 36.6 | 19.5 | 24.4 | 41 | 22.0 | 78.0 | 0.0 | 22.0 |
| | 100人～ | 23 | 30.4 | 60.9 | 8.7 | 21.7 | 23 | 52.2 | 39.1 | 8.7 | 43.5 | 23 | 30.4 | 69.6 | 0.0 | 30.4 |
| 分類 | 金属製品製造業 | 13 | 53.8 | 30.8 | 15.4 | 38.4 | 13 | 69.2 | 15.4 | 15.4 | 53.8 | 13 | 23.1 | 69.2 | 7.7 | 15.4 |
| | 一般機械器具製造業 | 31 | 25.8 | 61.3 | 12.9 | 12.9 | 31 | 35.5 | 51.6 | 12.9 | 22.6 | 31 | 9.7 | 80.6 | 9.7 | 0.0 |
| | 電気機械器具製造業 | 26 | 15.4 | 65.4 | 19.2 | -3.8 | 26 | 50.0 | 26.9 | 23.1 | 26.9 | 26 | 26.9 | 73.1 | 0.0 | 26.9 |
| | 輸送用機械器具製造業 | 17 | 29.4 | 58.8 | 11.8 | 17.6 | 17 | 64.7 | 29.4 | 5.9 | 58.8 | 17 | 17.6 | 70.6 | 11.8 | 5.8 |
| | 精密機械器具製造業 | 16 | 12.5 | 75.0 | 12.5 | 0.0 | 16 | 18.8 | 62.5 | 18.8 | 0.0 | 16 | 12.5 | 87.5 | 0.0 | 12.5 |

① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて38.4で、前回調査時の12.5から25.9ポイント改善した。「前年同期」比は53.8で前回の25.0より大幅改善している。「3ヶ月後」の予想も15.4で前回の6.3より改善している。春先の受注増から平常水準に戻り基調の企業もあるが、自動車部品関連をはじめ、総体的に堅調に推移しており、フル稼働の企業もある。

● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて12.9で、前回の10.0から2.9ポイント改善した。「前年同期」比は22.6(前回23.3)とほぼ同様に推移し、「3ヶ月後」の予想は「好転」「悪化」とも9.7%の0.0で、前回の△3.3から改善している。旺盛な受注が継続している企業、新規受注見込みはあるものの足元は厳しい企業、弱含みの感触を持ち始めた企業など、企業によって差がある。輸出型企業は地政学リスクの懸念もある。

● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「好転」企業(15.4%)が、「悪化」企業(19.2%)を下回り、△3.8で前回の3.8から悪化した。「前年同期」比では「好転」企業が50.0%で、「悪化」企業の23.1%を上回り26.9で前回の27.0とほぼ同様の動きだった。また、「3ヶ月後」の予想は26.9で前回の19.3より改善した。情報機器関連や自動車部品関連で好調な動きが見られる。

● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて17.6で、前回の△12.5から30.1ポイント改善した。「好転」企業が前回の12.5%から29.4%に増加し、「悪化」企業が25.0%から11.8%に減少している。「前年同期」比は58.8で、前回の25.0から大幅改善した。「3ヶ月後」の予想は5.8で前回の△6.3から大幅改善している。取引先によって増減はあるものの、総体的に受注が増加している企業が多い。人手不足の企業もある。

● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて0.0で、前回の△50.0から大幅改善した。「前年同期」比も0.0で前回の△25.0から改善した。一方、「3ヶ月後」の予想は12.5で前回の16.7からやや悪化した。横ばいとする企業が多い。海外生産が進む中、技術力がある企業に受注が集約される傾向がある。設備投資の増加で、各種生産機械に搭載する位置確認用カメラレンズなどが増加傾向になっている。

② 規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人」規模が9.3で前回の△10.2から改善し、「30～99人」規模が12.2で前回の12.8とほぼ同様で、「100人以上」規模は21.7で前回の27.3からやや悪化した。「前年同期」比は「1～29人」規模が23.1で前回の5.8から改善し、「30～99人」規模が24.4で前回の12.8から改善、「100人以上」規模は43.5で前回の45.5よりやや悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「1～29人」

規模は△4.6 で前回の△5.8 よりやや改善し、「30～99 人」規模が 22.0 で前回の 10.2 より改善、「100 人以上」規模は 30.4 で前回の 22.7 より改善した。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べて受注状況DIは、「増加」企業 31.0%、「減少」企業 19.4%で 11.6 と、前回調査時の 1.6 から改善している。「前年同期」比でも前回の 11.6 から 24.0 と改善した。「3ヶ月後」の予想は「増加」企業 18.6%、「減少」企業 10.1%の 8.5 で、前回の 1.5 から改善している。1年前の同時期の比較では、「前年同期」比は△17.4 から 24.0 と 41.4 ポイント改善している。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29 人企業」は 3.1 で、前回の△10.2 から改善した。「30～99 人」企業は 17.0 で、前回の 10.2 から改善し、「100 人以上」は 26.1 で前回の 22.7 から改善している。「前年同期」比では「1～29 人」が 21.6 で、前回の 4.3 から大幅改善した。また、「30～99 人」は 19.5 と前回の 12.8 から改善し、「100 人以上」も 39.1 と前回の 31.8 から改善している。「3ヶ月後」の予想では、「1～29 人企業」が△9.3 で前回の△8.7 からやや悪化した、「30～99 人」は前回の 5.1 から 19.6 と改善した。「100 人以上」は 39.1 で前回の 27.3 から改善し、好転予想が増えている。

業種別(主要 5 業種)では、「3ヶ月前」と比べて、「一般機械」は前回の 6.7 から 0.0 と悪化した、「電気機械」は△3.8 から 0.0、「精密機械」は△33.4 から 18.8、「輸送用機械」は△12.5 から 17.6、「金属製品」は 18.7 から 38.4 とそれぞれ改善した。「前年同期」比では、「一般機械」が前回の 23.4 から 19.3 へやや悪化した、「輸送機械」は 25.0 から 58.8、「電気機械」は 15.4 から 19.2、「精密機械」は△16.7 から 6.2、「金属製品」は 12.5 から 53.8 と、それぞれ改善している。

「3ヶ月後」の予想は、「一般機械」が△9.7 で前回の 0.0 から悪化し、「精密機械」も 33.3 から 6.3 に悪化した、「金属製品」は 0.0 から 23.1、「電気機械」も 7.7 から 30.8、「輸送用機械」は△6.3 から 5.8 へと改善している。

業種別・規模別受注状況表

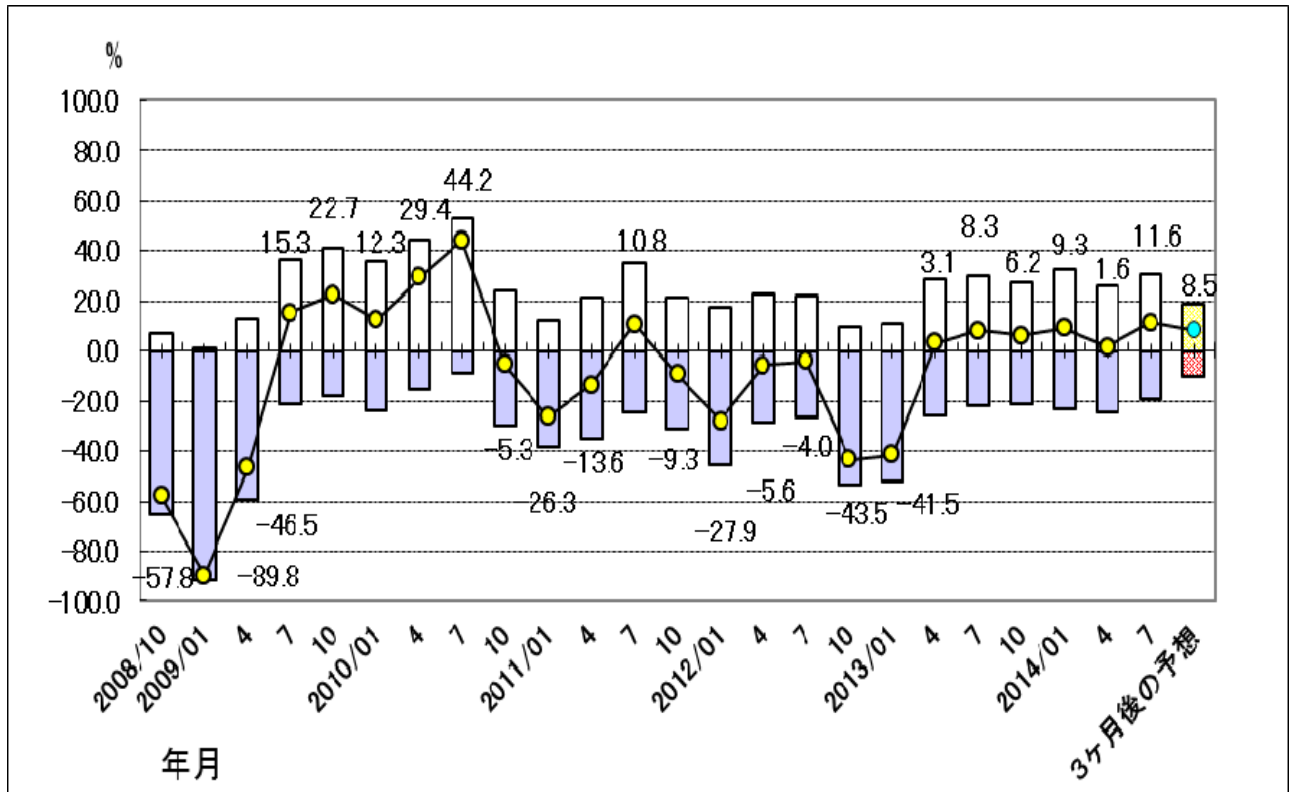
表-3

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | | |
|-----|------------|------|------|------|------|----------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|
| | 回答企業 | 増加 | 不変 | 減少 | DI | 回答企業 | 増加 | 不変 | 減少 | DI | 回答企業 | 増加 | 不変 | 減少 | DI | |
| 製造業 | 129 | 31.0 | 49.6 | 19.4 | 11.6 | 129 | 42.6 | 38.8 | 18.6 | 24.0 | 129 | 18.6 | 71.3 | 10.1 | 8.5 | |
| 規模 | 1～29人 | 65 | 27.7 | 47.7 | 24.6 | 3.1 | 65 | 38.5 | 44.6 | 16.9 | 21.6 | 65 | 9.2 | 72.3 | 18.5 | -9.3 |
| | 30～99人 | 41 | 34.1 | 48.8 | 17.1 | 17.0 | 41 | 46.3 | 26.8 | 26.8 | 19.5 | 41 | 22.0 | 75.6 | 2.4 | 19.6 |
| | 100人～ | 23 | 34.8 | 56.5 | 8.7 | 26.1 | 23 | 47.8 | 43.5 | 8.7 | 39.1 | 23 | 39.1 | 60.9 | 0.0 | 39.1 |
| 分類 | 金属製品製造業 | 13 | 53.8 | 30.8 | 15.4 | 38.4 | 13 | 69.2 | 15.4 | 15.4 | 53.8 | 13 | 30.8 | 61.5 | 7.7 | 23.1 |
| | 一般機械器具製造業 | 31 | 29.0 | 41.9 | 29.0 | 0.0 | 31 | 38.7 | 41.9 | 19.4 | 19.3 | 31 | 9.7 | 71.0 | 19.4 | -9.7 |
| | 電気機械器具製造業 | 26 | 15.4 | 69.2 | 15.4 | 0.0 | 26 | 42.3 | 34.6 | 23.1 | 19.2 | 26 | 30.8 | 69.2 | 0.0 | 30.8 |
| | 輸送用機械器具製造業 | 17 | 29.4 | 58.8 | 11.8 | 17.6 | 17 | 64.7 | 29.4 | 5.9 | 58.8 | 17 | 17.6 | 70.6 | 11.8 | 5.8 |
| | 精密機械器具製造業 | 16 | 31.3 | 56.3 | 12.5 | 18.8 | 16 | 25.0 | 56.3 | 18.8 | 6.2 | 16 | 6.3 | 93.8 | 0.0 | 6.3 |

製造業の受注状況DIの推移

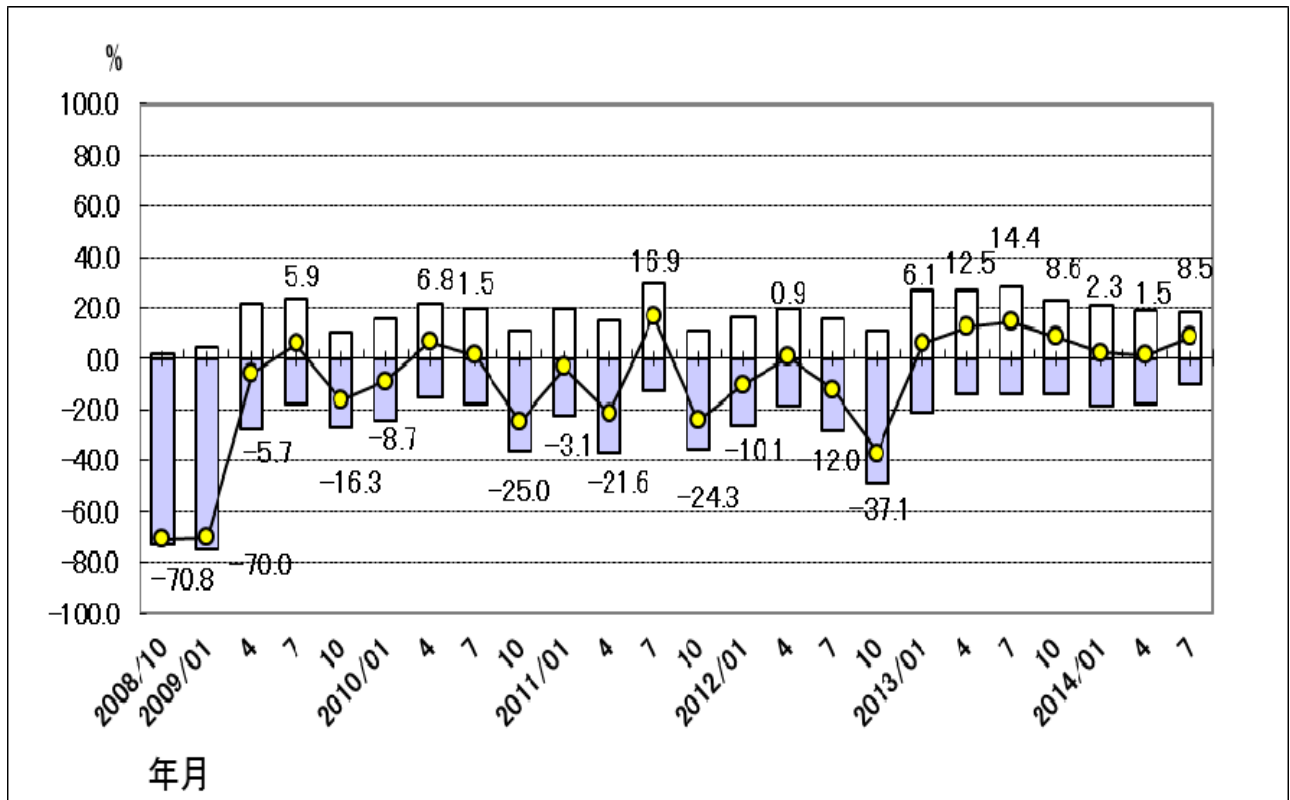
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



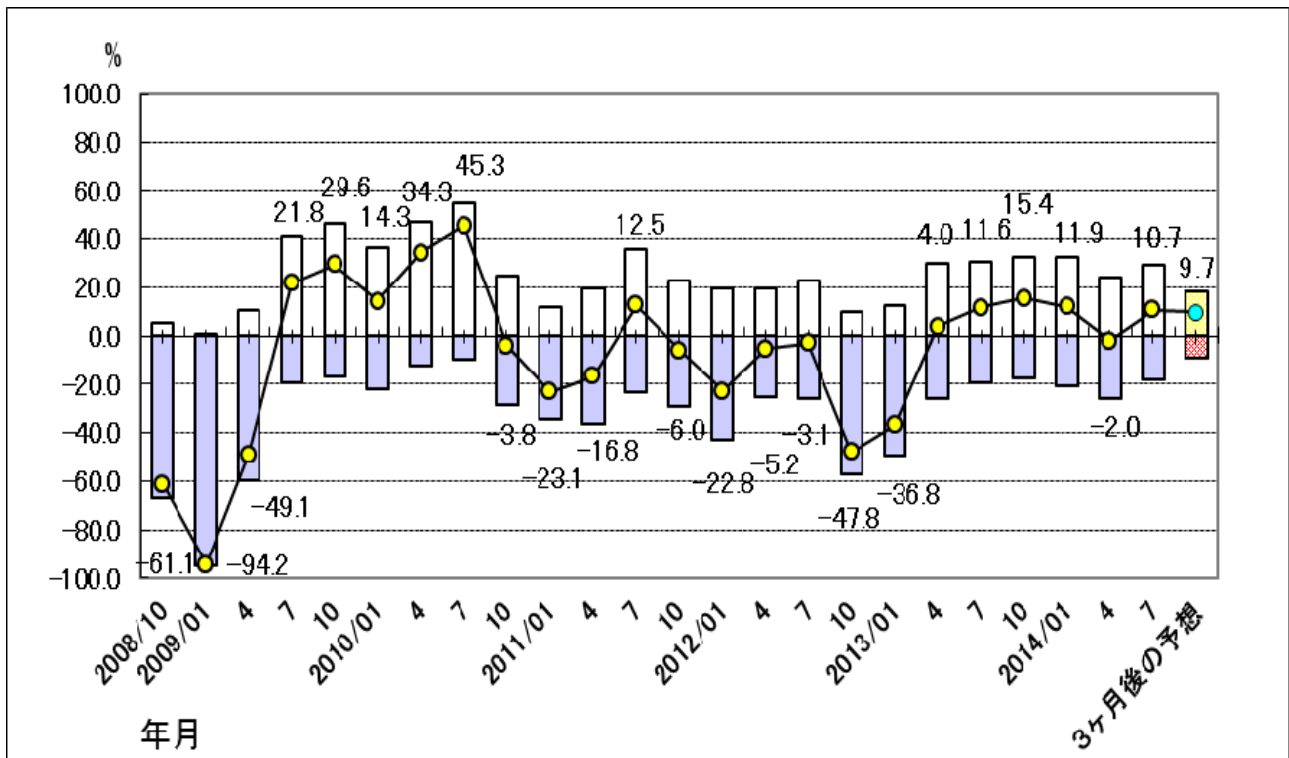
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



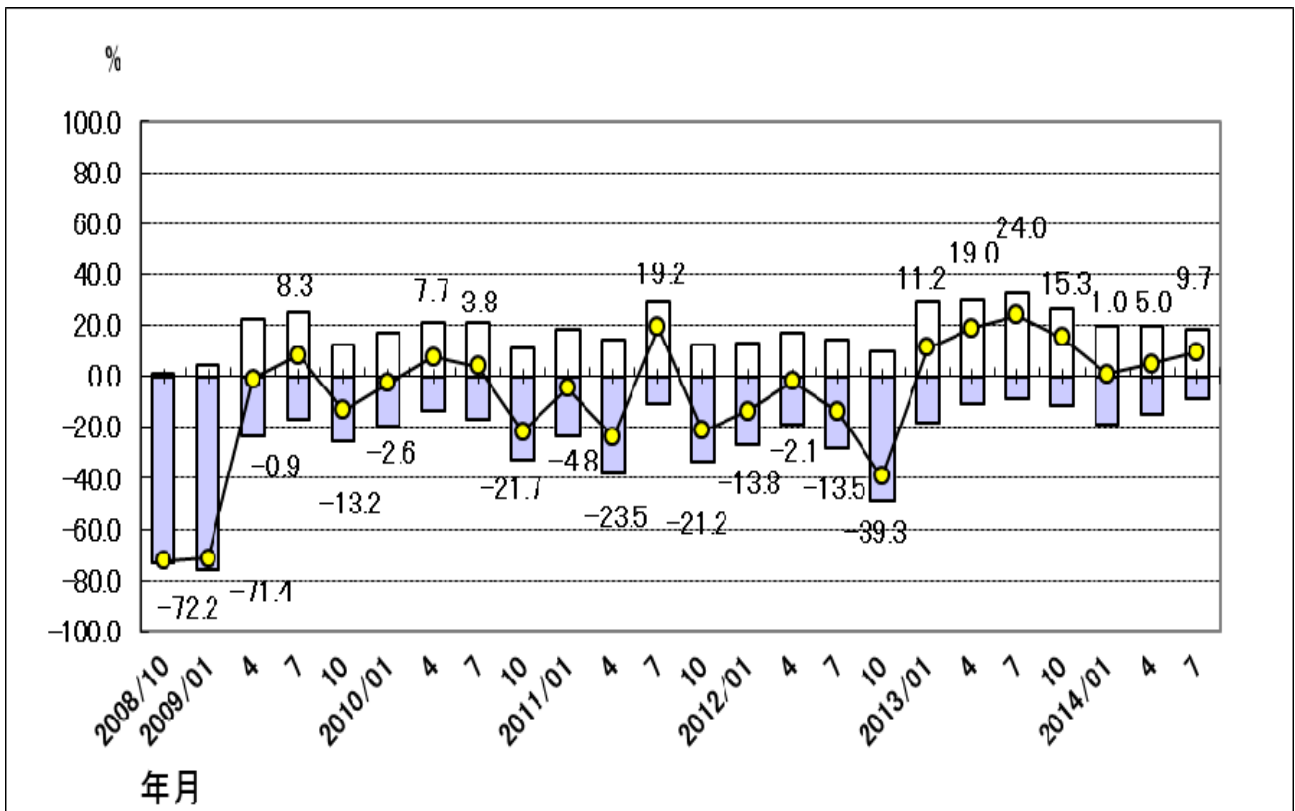
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2.商業・観光サービス業

①商業

「3ヶ月前」と比べ、大型店を中心とした業況判断DIは△18.2と前回の0.0から悪化した。来店客数DIは△36.4で前回の9.1から大幅悪化した。収益性DIは9.1で前回の△9.1から改善した。「3ヶ月後」の業況予想DIは△27.3で「悪化」企業が上回り、前回の△18.2からマイナス幅が広がった。消費増税の影響は「3ヶ月前」に比べて、「多大」とする企業は前回の63.6%から18.2%へ減少して「多少」が増え、負担感は和らぐ傾向となっている。ただ、3ヶ月後の予想は「影響がない」とする企業がやや減少し、先行きには不透明感がある。

- 食料品 台風などの天候の影響で生鮮野菜が価格を上げている。梅雨明け後は暑い日が続く、ビールや飲料水など盛夏商品が好調だった。
- 衣料品 台風で気温が上がらない影響はあったが、水着や浴衣関連は比較的安定していた。
- 自動車 長野県内の7月の新車新規登録・届出台数は登録車が5,394台となり、前年同月比で4ヶ月ぶりに増加した。軽自動車は4,682台で3ヶ月連続減少した。
- 家電店 エアコンの販売は好調だったが、洗濯機や冷蔵庫などは低調気味の傾向だった。これまで引き合いが多かった太陽光発電システムは一服感がある。
- ホームセンター 住居関連ではふとんなどの寝具が比較的好調だった。おもちゃの「妖怪ウォッチ」は大ヒットとなり品薄状態となった。業界は持ち直し傾向だが、小幅にとどまっている。

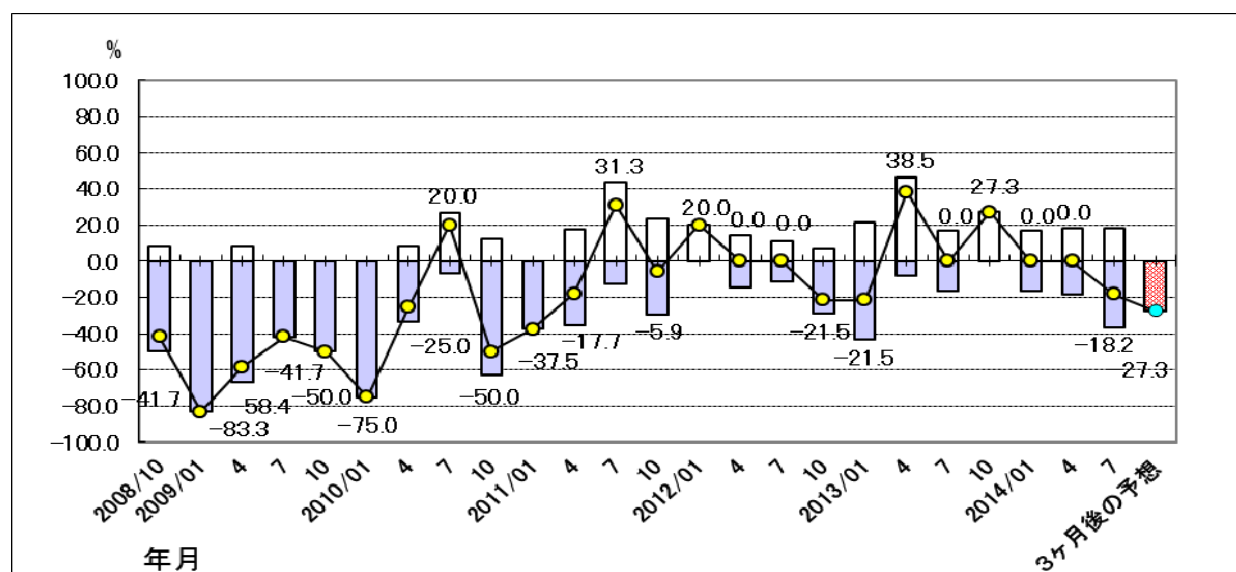
業況、客単価、来店客数

表-4

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | |
|------|----------|------|------|------|-------|----------|------|------|------|-------|---------|-----|------|------|-------|
| | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI |
| 業況 | 11 | 18.2 | 45.5 | 36.4 | -18.2 | 11 | 36.4 | 18.2 | 45.5 | -9.1 | 11 | 0.0 | 72.7 | 27.3 | -27.3 |
| 客単価 | 11 | 9.1 | 81.8 | 9.1 | 0.0 | 11 | 27.3 | 72.7 | 0.0 | 27.3 | 11 | 9.1 | 90.9 | 0.0 | 9.1 |
| 来店客数 | 11 | 9.1 | 45.5 | 45.5 | -36.4 | 11 | 27.3 | 18.2 | 54.5 | -27.2 | 11 | 0.0 | 54.5 | 45.5 | -45.5 |

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

業況判断DIは、「3ヶ月前」比が42.9で前回調査時の43.7とほぼ同様に推移している。「前年同期」比では、客単価DIが6.2から△9.5へ悪化し、宿泊客数DIは△6.2から△9.5へ悪化幅が広がった。「3ヶ月後」の業況予想DIは14.3で前回の43.3から悪化し、宿泊客数DIも4.8で前回の50.0から悪化した。前年に比べて今年は経済情勢や天候などの影響を受けて減少した企業が多い。一部には木曾の台風被害でJR中央西線が不通になった影響もあった。

消費増税は「影響がない」とする企業が、前回の37.5%から44.4%に増え、3ヶ月後は50.0%の企業が影響は薄れるとみている。

- 上諏訪温泉 7月の宿泊人数は総体で前年比増加し70%台～110%台となった。片倉館での朝市、開始を早めたサマーナイトフェスティバルなどが集客に効果を表している。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか 梅雨明けが遅く、休日に雨が多かったことが影響し、売上げ減少の施設が多い。南木曾の台風被害の風評でキャンセルがあった施設もある。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた7月の参拝者数は約46千人と、前年同月比約5千人の減少(△9.9%)となった。

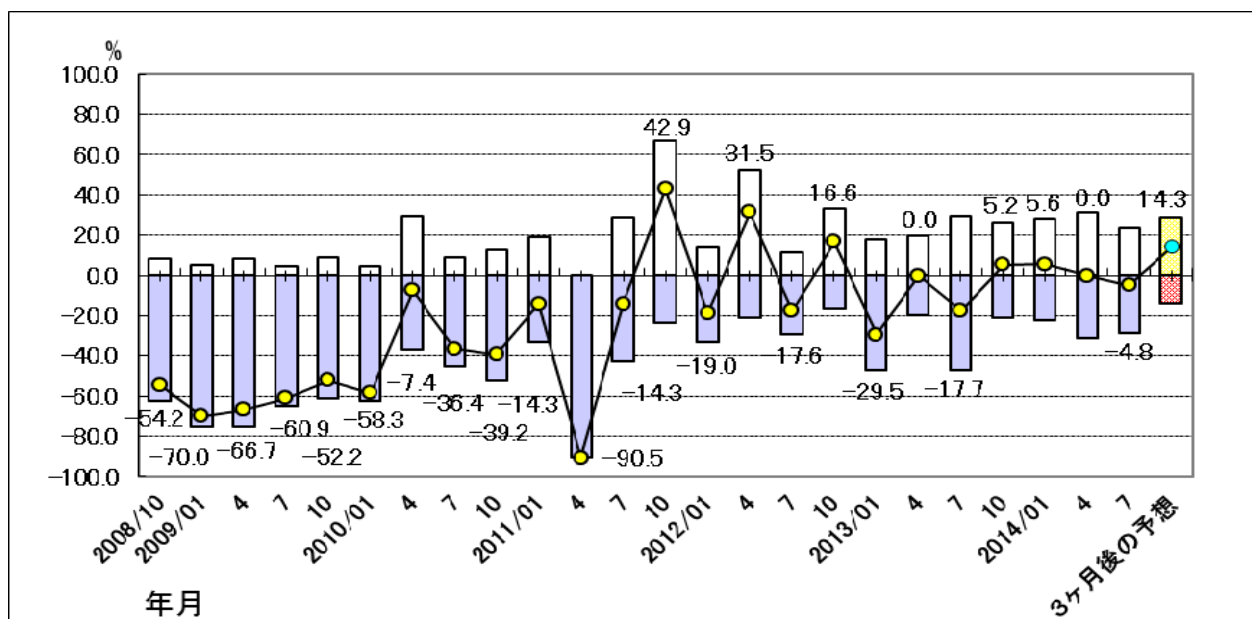
業況、売上、宿泊客

表-5

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | |
|------|----------|------|------|-----|------|----------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|
| | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI |
| 業況 | 21 | 52.4 | 38.1 | 9.5 | 42.9 | 21 | 23.8 | 47.6 | 28.6 | -4.8 | 21 | 28.6 | 57.1 | 14.3 | 14.3 |
| 客単価 | 21 | 28.6 | 61.9 | 9.5 | 19.1 | 21 | 14.3 | 61.9 | 23.8 | -9.5 | 21 | 9.5 | 76.2 | 14.3 | -4.8 |
| 宿泊客数 | 21 | 52.4 | 38.1 | 9.5 | 42.9 | 21 | 23.8 | 42.9 | 33.3 | -9.5 | 21 | 23.8 | 57.1 | 19.0 | 4.8 |

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

業況判断DIは「3ヶ月前」比で「横這い」企業が80%で、0.0と前回調査時の△16.6から改善した。「前年同期」比では20.0で前回の25.0からやや悪化した。「3ヶ月後」の予想は90%の企業が「横ばい」とし、「悪化」企業がなく10.0で前回の△8.3から改善している。受注状況予想DIは、前回の△8.3から△10.0となり、悪化予想の企業が上回った。

●建築工事

諏訪地方の平成26年6月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市28戸、諏訪市20戸、茅野市39戸、諏訪郡16戸だった。平成26年4月～6月の利用別の前年同期累計比では、貸家が7.9%伸びたが、持家は22.3%、分譲は28.0%それぞれ減少した。県全体の6月の新設住宅着工戸数は970戸で、前年同月比17.7%減少した。

●公共工事

7月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は諏訪建設事務所7件754百万円、林道治山工事関係1件24百万円、農地整備課2件37百万円、長野国道事務所等国関係1件149百万円、その他土木・建築工事2件14百万円だった。市町村発注工事は前年同月比15件、6,879百万円の減少となった。

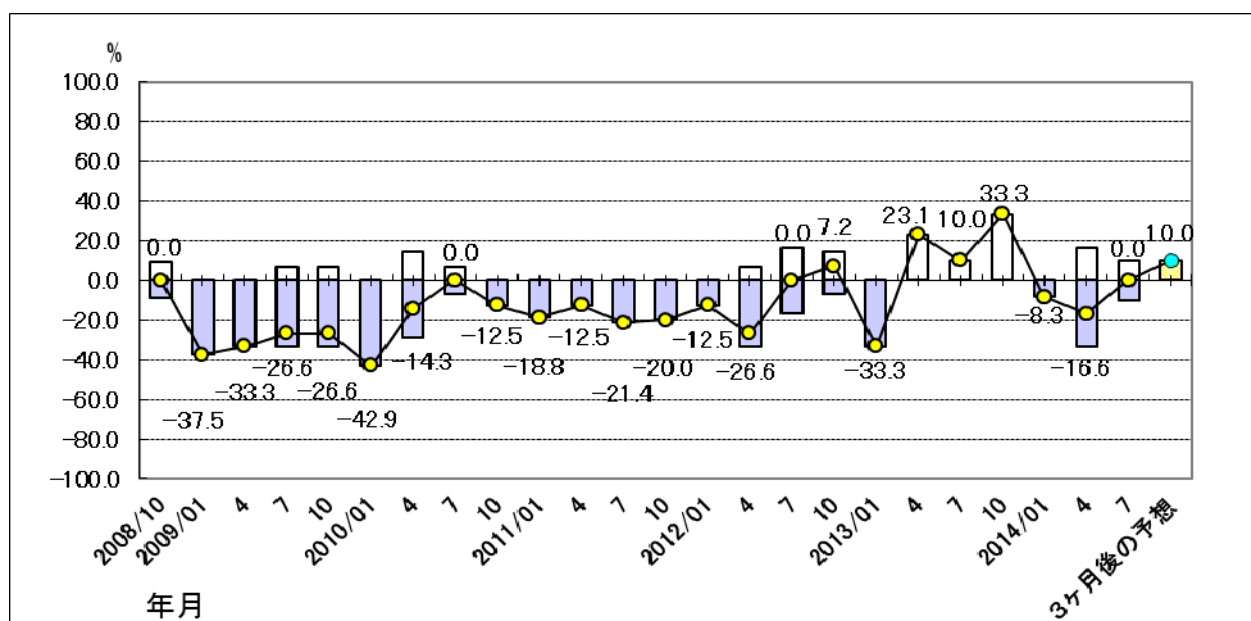
業況、受注状況、外注発注量

表-6

| | 3ヶ月前と比べて | | | | | 前年同期と比べて | | | | | 3ヶ月後の予想 | | | | |
|-------|----------|------|------|------|-------|----------|------|------|------|------|---------|------|------|------|-------|
| | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI | 回答企業 | 好転 | 横這 | 悪化 | DI |
| 業況 | 10 | 10.0 | 80.0 | 10.0 | 0.0 | 10 | 30.0 | 60.0 | 10.0 | 20.0 | 10 | 10.0 | 90.0 | 0.0 | 10.0 |
| 受注状況 | 10 | 10.0 | 60.0 | 30.0 | -20.0 | 10 | 30.0 | 50.0 | 20.0 | 10.0 | 10 | 10.0 | 70.0 | 20.0 | -10.0 |
| 外注発注量 | 10 | 0.0 | 70.0 | 30.0 | -30.0 | 10 | 30.0 | 50.0 | 20.0 | 10.0 | 10 | 10.0 | 70.0 | 20.0 | -10.0 |

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



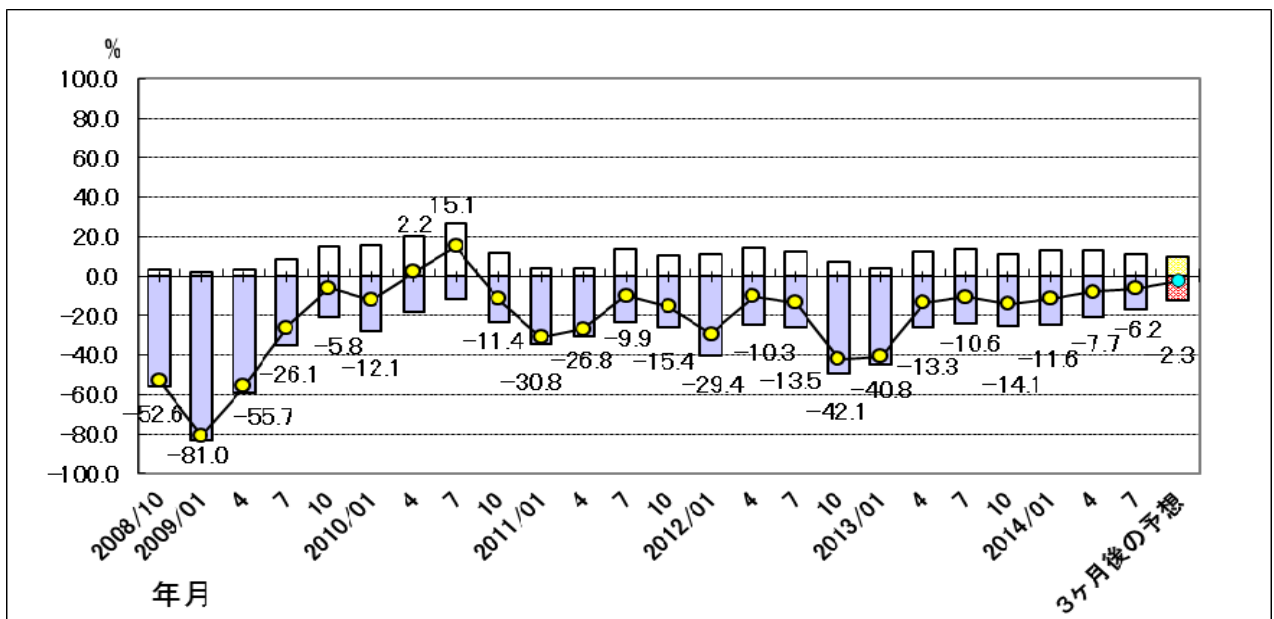
4.収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 13.5%、「悪化」企業 17.0%で、同DIは△3.5と前回調査時の△5.9からやや改善した。「前年同期」比も△3.5で、前回の△5.3から1.8ポイント改善した。製造業は△6.2で前回の△7.7から1.5ポイント改善し、非製造業は4.7で前回の0.0から改善している。ただ、原材料や燃料の高騰による収益圧迫の声は多い。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△2.3で前回の△5.4から3.1ポイント改善したが、非製造業は△11.9で前回の7.6より悪化している。回答全社では△4.6で、前回の△2.4から悪化している。

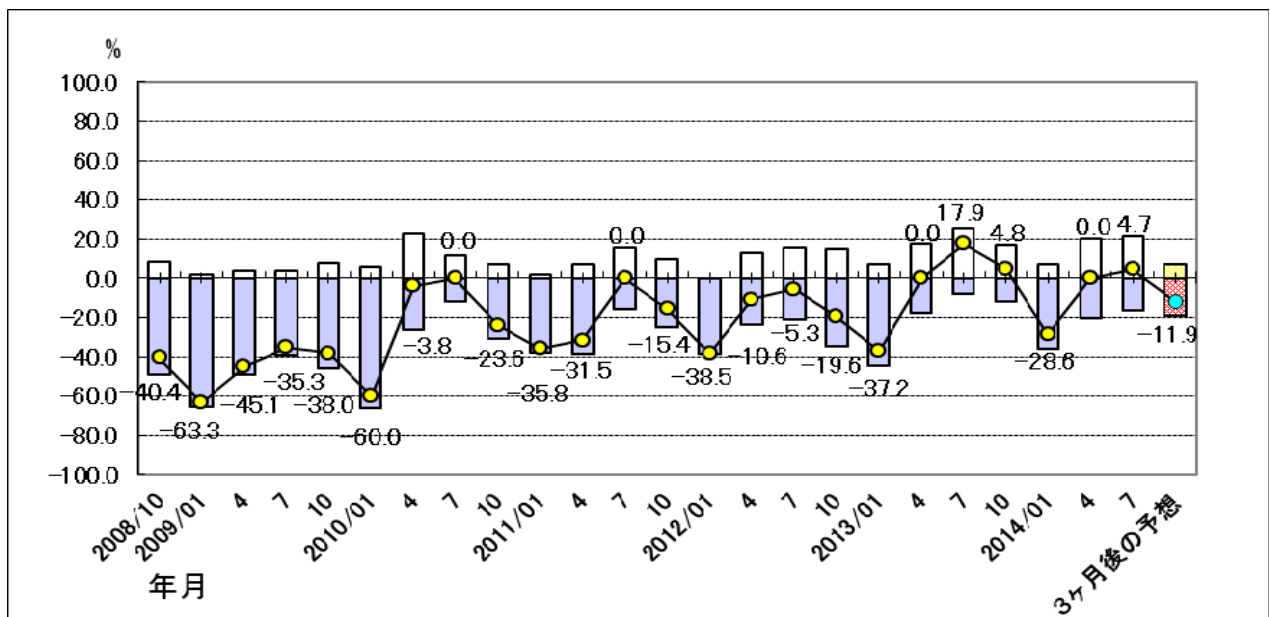
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として全体的に「労働力確保」が増える傾向となっている。前回に比べて、①製造業は人件費と労努力確保。原材料高騰を上げる企業も多い②商業(大型店)は、資金繰りと労働力確保③建設業は、競争力激化と労働力確保④観光・サービス業は、売り上げ減少と労働力確保が増えている。

| 経営上の課題 | 合計 | 製造業 | 商業 | 建設業 | 観光・サービス業 |
|--------|----|-----|----|-----|----------|
| 売上減少 | 63 | 45 | 6 | 4 | 8 |
| 単価引下げ | 31 | 27 | 1 | 1 | 2 |
| 競争激化 | 39 | 26 | 5 | 6 | 2 |
| 資金繰り | 33 | 24 | 4 | 0 | 5 |
| 人件費 | 30 | 19 | 5 | 2 | 4 |
| 労働力確保 | 41 | 24 | 4 | 6 | 7 |

6.諏訪地方主要経済指標

| 主要指標 | | 実数 | 前年同期比 | |
|----------------------------|-----------|-------------|-----------|-----|
| 有効求人倍率【6月】 | ハローワーク諏訪 | 1.06倍 | 0.30ポイント | |
| 手形交換高【7月】 (諏訪手形交換所扱) | 枚数 | 6,284枚 | △1,491枚 | |
| | 金額 | 7,431百万円 | △3,504百万円 | |
| | うち不渡り発生状況 | 枚数 | 0枚 | △3枚 |
| | 金額 | 0千円 | △1,120千円 | |
| 電力使用量【7月】 (中電諏訪営業所管内) | 電灯電力計 | 37,572 MWh | △5.4% | |
| | 高压電力計 | 95,454 MWh | 1.7% | |
| | 合計 | 133,026 MWh | △0.4% | |
| 車庫証明取扱件数【7月】(諏訪地方合計) | | 956件 | △2.3% | |
| 新設住宅着工戸数【H26.4~26.6】(諏訪管内) | | 285戸 | △16.9% | |

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- ①調査期間 平成26年7月末
- ②調査内容 「平成26年7月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- ③調査方法 アンケート調査(回答数 下記⑦)及びヒアリング調査(約130社)
- ④対象地域 諏訪地域全域
- ⑤業種 製造業、商業(大型店:売り場面積501㎡以上)、建設業、観光・サービス業
- ⑥回答企業数 171企業
- ⑦回答率 66.5%

| | 製造業 | 商業 | 建設業 | 観光・サービス業 | 合計 |
|-----|-----|----|-----|----------|-----|
| 依頼数 | 190 | 20 | 20 | 27 | 257 |
| 回答数 | 129 | 11 | 10 | 21 | 171 |